

5 かみのやまの食のブランド化プロジェクト 平成30年度フォローアップ

<状況：◎完了、○実施中（継続）、△次年度、×取組なし又は未定>

事業名	事業内容等	平成30年度 実施内容	スケジュール				進捗状況	事業内容	平成30年度実績 問題点（未達成）及び次年度以降に向けた課題等	所管課 実施団体
			30年度	31年度	32年度	33年度以降				
1 上山産農産物の地域ブランド戦略の推進										
(1) 農産物等（サクランボ・ぶどう・西洋なし・紅干し柿・ワイン等）の消費宣伝	大消費地等での上山産特産品のプロモーションの実施	仙台駅かみのやまフェアや上山ファンクラブにおける農産物プロモーション及び当市PRパンフレットの配布					○	◇東京・仙台でのPRを実施 ◇かみのやまファンクラブにおける農産物PRの実施 ◇和歌山県田辺市と共同で農産物をはじめとした特産品紹介事業を実施（東京）	大消費地における継続的なプロモーション活動の実施	農業夢づくり課 観光課 市政戦略課 上市市観光物産協会
	生産者等の販促活動への支援	◇生産者団体等が実施する販促活動への支援及び当市PRパンフレット配布 ◇共通の販促資材の販売・貸出し					○	首都圏等における生産者PRへの支援（4団体）	効果的なセールス及びプロモーション活動を実施する生産者の拡大	農業夢づくり課
	市内向け消費宣伝の実施	◇ラ・フランスセレクションの開催 ◇市内イベント（ツール・ド・ラ・フランス大会等）でのPRの実施 ◇かみのやま温泉駅等でのプロモーション活動を実施					○	ツール・ド・ラ・フランス大会と同会場でラ・フランスセレクションを開催し、PRを実施（出品数66件）	さらなる参加者の拡大	農業夢づくり課
2 かみのやま食のマルシェの実施										
(1) 定期市、商業祭等での農産市の開催	定期市、商業祭等各種イベントでの農産市の開催	商業祭等での地元農産物及び6次産業化加工品の販売					○	定期市、商業祭等各種イベントでの農産市の開催	たいらぐら会員の高齢化により出展規模縮小	農業夢づくり課 商工課 たいらぐら
(2) 食のまち歩き情報紙づくり	まち歩きマップの作成・活用	新たなまち歩きマップを作成し、市内各所やイベント等で配布するなど、中心市街地の拠点施設と商店街が連携した活用によって、まち歩きを推進					○	商店街の店舗や観光情報等を掲載したまち歩きマップを作成し、市内各所で配布するなどの活用によりまち歩きを推進	東北中央自動車道利用者の市内誘導等での活用	商工課
3 旅館等での地元産農産物の活用拡大										
(1) 旅館等での地産地消の拡大推進	◇旅館への農産物情報の提供 ◇旅館への発注・集荷・配達・精算等のシステムづくり	旅館への農産物情報の提供					○	◇農産物コーディネーターによる農産物の情報提供 ◇朝取り野菜の斡旋	生産者と旅館における供給量と需要量及び取引価格	農業夢づくり課 観光課
	地元農産物活用に向けたコーディネート機能	地産地消推進業務の委託					○	◇地産地消事業をJAへ委託 ◇農産物コーディネーターによる農産物の情報提供	生産者と旅館における供給量と需要量及び取引価格	農業夢づくり課
(2) クアオルト膳・弁当等の充実	各旅館・店舗等での地元農産物を活用した栄養のバランスに優れた食事メニューの開発・提供	◇旅館等における「ヘルスツーリズム認証」取得促進及び支援、認証後の積極的な活用 ◇宿泊型新保健指導事業の実施による、カロリーと塩分に配慮した食事メニューの提供 ◇認定基準妥当性の確認、新たな認定 ◇新規参加事業者の掘り起こし ◇市役所食堂におけるクアオルトランチの提供 ◇ウォーキングイベント等における積極活用 ◇企業・事業所の栄養教室などにおける活用					○	◇旅館等における「ヘルスツーリズム認証」取得促進及び支援、認証後の積極的な活用（3旅館・1店舗取得） ◇「健康な食事（スマート・ミール）・食環境」外食部門認証取得（1店舗） ◇宿泊型新保健指導事業の実施による（9ツアー開催・6旅館受入）、カロリーと塩分に配慮した食事メニューの提供 ◇市役所食堂におけるクアオルトランチの提供（月1回） ◇ウォーキングイベント等における積極活用 ◇企業・事業所の栄養教室などにおける活用	◇「健康食＝低カロリー」という意識の改革、お客様に向けた効果的な情報発信 ◇定期的な品質管理 ◇新規事業者の掘り起こし	クアオルト推進室 農業夢づくり課 観光課 健康推進課 上市市観光物産協会 温泉旅館
4 新商品の開発										
(1) 6次産業化の推進及び商品開発に向けた産学官金の連携構築	◇農産加工等実践者のPR ◇異業種交流会（生産農家、食品製造業、学校等）の開催、産学官金意見交換会、関係者間定例ワーキングの開催 ◇成分分析等による魅力の再発見	◇農産加工等の研修会への参加呼び掛け ◇農産物コーディネーターの配置					○	◇新商品開発（2件） ◇6次産業研修会への参加呼び掛け	◇6次産業化の新規取り組み者の発掘及びフォローの継続 ◇開発商品の販路拡大	農業夢づくり課 観光課
(2) 商品の開発促進	◇地元農産物を活用した商品開発を促進及び各種イベントでの商品発表 ◇明新館高校生徒のメニューアイデア募集	◇地元農産物を活用した商品開発に取り組む事業者の掘り起こし ◇産業まつりやマルシェ等、イベントでの商品発表					○	アロニア等地元農産物を活用した商品開発に取り組む事業者が、マルシェにおいて商品の試食・販売を実施しPR	◇地元農産物を活用した商品開発に取り組む事業者の掘り起こし ◇マルシェ等イベントでの商品発表とPR	商工課 農業夢づくり課
5 かみのやまワインの郷プロジェクト										
(1) ワインぶどう生産振興	◇園地整備・拡大への支援 ◇ワンストップ窓口の設置 ◇産地優位性の検証	◇園地整備・拡大のためのオーダーメイド型支援 ◇畑探しのための一括相談窓口（ワンストップ）設置 ◇山形大学と連携した、ぶどう栽培適地としての検証					○	園地整備（15件） 約5.75ha（うち新規約2.44ha）	◇就農者の技術習得や経営安定のためのスキームづくり ◇高齢農業者の畑をスムーズに継承する対策を検討 ◇ぶどう栽培適地の検証の継続	農業夢づくり課
(2) ワイン醸造量の拡大	◇ワイナリー誘致の推進 ◇ワイナリー創設者の掘り起こし ◇ワンストップ窓口の設置 ◇既存ワイナリーの設備整備への支援	◇大手ワイナリーへの市内進出誘致 ◇ワイン特区を活用しながら、ワインぶどうセミナー等を実施する中でのワイナリー創設者の掘り起こし ◇既存ワイナリーの設備整備への支援					○	◇ワインぶどうセミナーの開催（6回/108人） ◇ワンストップ窓口誘導案件（18件） ◇農業者フェアへの出展（東京）	◇就農に向けた継続的なフォロー ◇ワイナリー創業者希望者毎の創業計画策定をフォロー	農業夢づくり課
(3) ワイン消費の拡大	◇オリジナルワイン醸造 ◇各種イベント等でのかみのやまワインのPR ◇PR用ツールの作成 ◇ワインツーリズムの推進	◇オリジナルワイン醸造 ◇ワインツーリズムの企画開催 ◇映像資料を活用したPR実施 ◇販売店や旅館等と連携したワインの消費拡大キャンペーン等の取組について検討					○	◇オリジナルワインの開発（2017産 赤1,418本、白1,597本） ◇県内外でのかみのやまワインのPR ◇市報への定期掲載 ◇飲食店組合に働き掛け、イベントでのBYOの実施や、ワインバルでのチラシ配布による誘客の取組を促進 ◇消費拡大キャンペーンの実施 ◇ワインツーリズムの企画開催（参加者347人）	◇当プロジェクトの認知度向上のため、地域限定ワイン「かみのやまテロワール」の開発製造 ◇かみのやまワインの認知度向上 ◇ワインツーリズムの充実 ◇飲食店組合にBYOの実施など、ワインの消費拡大につながる取組の働き掛け ◇販売店や旅館等と連携したワインの消費拡大キャンペーン等の継続的な取組	農業夢づくり課 観光課 商工課